

令和 3 年 度
航 空 旅 客 動 態 調 査

報 告 書
(速 報 版)

<日集計表>

令和 4 年 10 月
国 土 交 通 省 航 空 局

令和3年度 航空旅客動態調査 報告書（速報版）
＜ 日集計表 ＞

目 次

第1部 調査概要

1.航空旅客動態調査について	1-1
2.調査内容.....	1-1
3.調査対象.....	1-4
4.調査方法.....	1-4
5.調査実施日	1-4
6.調査票回収状況.....	1-4
7.日別集計表：利用に際しての留意事項について.....	1-6

第2部 平日調査集計結果

平日 表1 OD表（空港間純流動）	2-1
平日 表2 OD表（空港間総流動）	2-9
平日 表3 空港別出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数.....	2-17
平日 表4 OD別旅行目的.....	2-19
平日 表5 OD別旅行日数.....	2-25
平日 表6 OD別旅行行程.....	2-31
平日 表7 OD別乗り換え空港	2-37
平日 附表 路線別内際乗継利用回答状況（国内線→国際線）	2-51

第3部 休日調査集計結果

休日 表1 OD表（空港間純流動）	3-1
休日 表2 OD表（空港間総流動）	3-9
休日 表3 空港別出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数.....	3-17
休日 表4 OD別旅行目的.....	3-19
休日 表5 OD別旅行日数.....	3-25
休日 表6 OD別旅行行程.....	3-31
休日 表7 OD別乗り換え空港	3-37
休日 附表 路線別内際乗継利用回答状況（国内線→国際線）	3-51

第1部
調査概要

1. 航空旅客動態調査について

航空旅客動態調査（以下、本調査と呼称する）は、わが国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地）、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の航空行政を検討するための基礎資料を得ることを目的としている。なお、調査は統計法に基づく一般統計調査として、国土交通省航空局が国内航空各社のご協力を頂きながら実施をしているものであり、第1回の昭和48年調査より、隔年での実施を基本とし、令和3年度調査は第26回次の調査となっている。

2. 調査内容

本調査は、以下に示す調査項目にて構成しており、各設問は次頁の調査票見本に示すとおりである。本調査は、「平日調査」と「休日調査」の2回を実施しているが、いずれも全く同一の調査票を用いて実施している。ただし、双方の調査票を区別するため、平日調査票は黒色、休日調査票は濃青色にて印字した調査票を用いて実施している。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| (1) 出発地 | (8) 旅行目的等 |
| (2) 空港アクセス実態 | ① 旅行目的 |
| ① 利用交通手段 | ② 旅行日数 |
| ② 所要時間 | ③ 旅行行程（往復行程の相違） |
| ③ 経費 | ④ 国際線利用の有無と国際線乗り換え空港 |
| ④ 空港滞留時間 | ⑤ 同行者数 |
| ⑤ 自家用車、社用・公用車での来港者の駐車場利用の有無 | ⑥ 見送り人数 |
| (3) 出発空港 | (9) 個人属性 |
| (4) 利用航空券の種類・座席の種類 | ① 性別 |
| (5) 乗継空港・到着空港 | ② 年齢 |
| (6) 到着空港イグレス交通手段 | ③ 職業 |
| (7) 目的地 | ④ 年収（税込み） |
| | ⑤ 現住所・国 |
| | ⑥ 家族同行者の属性（性別・年齢・職業・年収） |

000001



航空旅客動態調査票

Travel Survey for Domestic Air Passengers

国土交通省では、飛行機を利用して移動されている皆様により安全・快適に旅行をしていただけるよう、今後の航空政策の立案企画に活用するため「航空旅客動態調査」を実施しております。この調査は無記名で実施し、ご記入いただいた内容は統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることはございません。

This questionnaire is part of a survey being conducted by Japan's Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism to review future Japanese transport policy.

※ご回答の前に、ご一読下さい。

1. **日帰り旅行の方**：行き帰りの便でご回答頂いた場合でも、お手数ですが**もう一度ご回答下さい。**
2. **国内線を乗継いで目的地に行かれる方**：本日、既に調査にご協力頂いた場合は**回答頂く必要はありません。**
3. **現住所が同一のご家族で旅行されている方**：代表者の方**1名様のみ**ご回答下さい。
4. **以下の質問にご回答下さい。選択式の問いは該当する番号を○で囲んで下さい。**
Please provide the information requested below.
If you cannot read Japanese, please answer the questions 1,3,4,3,3 and 5-1 only.

問1：今回の旅行についてお聞きします。(Question 1. Please answer for this travel.)

問1-1：旅行の主な目的をお答え下さい。What is the main purpose of your travel?

- | | | | |
|-------------------|---|---|--------------|
| 1. 仕事
Business | 2. 観光等
Sightseeing/Recreation/Shopping | 3. 観光以外の私用・備考*2
Visiting friends or relatives
Other | その他
Other |
|-------------------|---|---|--------------|
- ※1：観光には、温泉、宿泊先、ショップ、イベント参加、コンサート、美術館、美術館、レクリエーションなどでのスウェット活動、習熟、体験学習を含む。
※2：私用・備考には、家族や友人等への訪問、結婚祝い等の贈り物、仕事のための出張を含む。

問1-2：旅行日数をお答え下さい。How many days is your travel schedule?

1. 日帰り One day
2. 宿泊を伴う旅行 Two days or more

→ **全体日数** All schedule **泊** Nights **日** Days **本日の行程** Which day is today in your itinerary? **日目** Days

問1-3：旅行の帰り(または行き)に、現在と同じ航空路線を利用しますか(しましたか)。

Are your inward and outward-bound flight routes the same?

1. 利用する(利用した)	2. 他の航空路線を利用する(利用した)	3. 他の交通機関を利用する(利用した)
Same route	Different route	Different form of transportation
4. 転居・転任等により片道の旅行	5. 未定	
One way	undecided	

質問は裏面に続きます

直近の出発地

問2-1：直近の出発地はどこですか。

1. 現住所(自宅等)が直近の出発地

2. 現住所以外が直近の出発地

※直近の出発地とは、現在ご搭乗便の出発空港直前に最後にお立ち寄りになった場所(駅、バス停、空港、港は除く)になります。

都道府県 市区町村

※ 直近の出発地の住所がわからない方へ
・直近の出発地のホテル名、観光地名等をご記入下さい。
・直近の出発地が海外の方は国名をご記入下さい。

問2-2：ご搭乗便の出発空港までご利用した交通機関を順番にご記入下さい。

直近の出発地 (問2-1)

1 交通機関番号を記入

1. 新幹線 2. 有料特急(新幹線除く) 3. JR在来線(新幹線・特急除く) 4. 私鉄・地下鉄 5. エルール 6. 空港直行バス(生駒駅から空港直行) 7. 高速バス(空港直行以外) 8. 貸切バス、観光バス 9. 路線バス・市内電車 10. タクシー・ハイヤー 11. 自転車・歩道車 12. レンタカー 13. 船 14. 国際線 15. その他(徒歩・自転車等)

※日本に到着した航空港をご記入下さい。
※国際線到着空港から最終のご搭乗便に乗り換えた航空港へ。

空港

※車の状況をご選択下さい。
1. 車は空港内の駐車場に停めている。
2. 車は空港外の近くの駐車場に停めている。
3. 車は同乗者が乗って帰った。

問2-3：直近の出発地からご搭乗便の出発空港までの所要時間をお答え下さい。

※国際線を利用された方は、国際線到着空港から搭乗便の出発空港まで

1. 30分以内	2. 31分~1時間	3. 1時間1分~1時間30分	4. 1時間31分~2時間
5. 2時間1分~2時間30分	6. 2時間31分~3時間	7. 3時間1分以上	

問2-4：直近の出発地からご搭乗便の出発空港までの一人当たりの交通費をお答え下さい。

※国際線を利用された方は、国際線到着空港から搭乗便の出発空港まで

1. 1,000円以下	2. 1,001~2,000円	3. 2,001~3,000円	4. 3,001~4,000円
5. 4,001~5,000円	6. 5,001~10,000円	7. 10,001円以上	

問2-5：出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時何分前ですか。

時間 分

令和3年度 航空旅客動態調査 調査票 見本 (2)

問3-1: ご搭乗便の出発空港及び到着空港をご記入下さい。
(出発空港) (到着空港) → 空港 → 空港 → 空港 → 次目的地

※飛行機を乗り継ぐために陸路を移動する場合、その前後の空港 (例えば伊丹空港、神戸空港、関西空港 等)

問3-2: ご搭乗されている便の航空券の種類をお答え下さい。
What is your ticket type?

1. 普通運賃 Normal fare
2. 往復割引 Round-trip discount
3. 乗継割引 Transit discount
4. マイレージ特典 Milesage
5. 回数券 Coupon tickets
6. 団体運賃・パッケージツアー等 Package tours
7. その他割引運賃 (僚制、先乗、バーゲン等) Others discount

《1. 2. 3. 7を選択された方》
(If you chose 1,2,3,7)

問3-3: ご搭乗されている便の座席の種類をお答え下さい。
What is your seat type?

1. 普通席 Economy
2. 普通席以外 (ファーストクラス、クラスJ、JAL、プレミアムクラス、ANA等) First/Business etc

※ご搭乗便の座席番号をお答え下さい。
(How much is your row/seat number?)

問4-1: ご搭乗便の到着空港から次目的地までの交通機関を、利用予定の順にご記入下さい。 ※国内線乗り継ぎ方は、最終乗継先空港から次目的地までの交通機関をご記入下さい。

ご搭乗便の到着空港 (問3-1) → 1次交通機関番号を記入 → 2次交通機関番号を記入 → 3次交通機関番号を記入 → 4次交通機関番号を記入 → 5次交通機関番号を記入 → 6次交通機関番号を記入 → 7次交通機関番号を記入 → 8次交通機関番号を記入 → 9次交通機関番号を記入 → 10次交通機関番号を記入 → 次目的地 (問4-2)

※交通機関番号は問2-2の選択肢をご参照ください。

※4. 国際線乗り継ぎの場合、日本出国空港に記入して下さい。

問4-2: 次の目的地はどこですか。
※次の目的地とは、現在ご搭乗便の到着空港後、最初に立ち寄りになる乗り継ぎ空港、または、空港、港は除く)になります。

1. 現住所(自宅等)が次の目的地
2. 現住所以外が次の目的地

都道府県 市区町村

《 次の目的地の住所がわからない方 》
・ 次の目的地の市町村名、観光地名等をご記入下さい。
・ 次の目的地が海外の方は国名をご記入下さい。

3 質問は裏面に続きます

問5: あなたご自身や同行されているご家族についてお聞きします。

問5-1: あなたご自身の現住所についてお答え下さい。(Question5-1. What is your current address?)
<日本にお住まいの方 For Japan residents only>

現住所 Address 都道府県 Prefecture 市区町村 City/District 区町村 Ward/Town/Village

<日本以外にお住まいの方 For Non-Japan residents only>

お住まいの国 Country of Residence 国籍 Nationality

問5-2: 3才以上の旅行者の人数をお答え下さい。(あなたご自身、ご家族以外も含みます)。

人

問5-3: ご自身の性別・年齢・職業・年収をご本人欄に番号でご記入下さい。
※家族1から家族5の欄には、同行されているご家族(現住所が同一の方)についてご記入下さい。

性別	年齢	職業	年収	家族1	家族2	家族3	家族4	家族5
1. 男 2. 女	1. 14歳以下 2. 15~19歳 3. 20~24歳 4. 25~29歳 5. 30~34歳 6. 35~39歳 7. 40~44歳 8. 45~49歳 9. 50~54歳 10. 55~59歳 11. 60~64歳 12. 65~69歳 13. 70~74歳 14. 75~79歳 15. 80歳以上	1. 管理職(役員・管理職員) 2. 専門・技術・事務関係職業 3. 販売・サービス関係職業 4. 農林畜産関係職業 5. 生産・運輸関係職業 6. その他職業 7. 中学生以下 8. 高校生以上の学生 9. 主婦・主夫(職業従事者を除く) 10. 無職	1. なし 2. 100万円未満 3. 100~199万円 4. 200~299万円 5. 300~399万円 6. 400~499万円 7. 500~699万円 8. 700~999万円 9. 1,000~1,499万円 10. 1,500~1,999万円 11. 2,000万円以上	1				
				6				
				2				
				6				

* 年収についての設問は、旅客の平均的な年収を算出することにより、航空利用者全体の時間に対する価値観(時間価値)を計算し、航空政策の参考とするためにお聞きしています。

問5-4: 空港までのお見送りの方についてお答え下さい。(小学生以上)

1. 見送りはない 2. 見送りがあった → 人

ご協力ありがとうございます。
Thank you for your cooperation on this important survey.

3. 調査対象

本調査は、調査実施日に運航する、国内線定期便及び定時運航する不定期便を利用する、全航空旅客を対象としている。

4. 調査方法

本調査の調査方法は、国内航空各社（21社）からのご協力を得て、原則として客室乗務員が調査対象者（航空旅客）に、航空機内において調査票を配布・回収する形式にて行っている。

ただし、機内での配布・回収が困難な航空便（フライト時間が短い、客室乗務員が乗務しない等々）においては、搭乗口にて配布・機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席に調査票をセットして機内で回収する方法、搭乗手続き時に職員が調査票を配布・搭乗前に回収を行う方法等を用いている。

5. 調査実施日

本調査は、平日と休日の旅客流動特性の違いを把握するため、平成17年度より平日調査と休日調査の2回（各1日）を行っている。

令和3年度調査においては、調査日を「令和3年11月7日（日）【休日調査】」、「11月10日（水）【平日調査】」と設定して実施した。なお、平日運航便のうち、水曜日に運航のない曜日運航便については、11月11日（木）、12日（金）のいずれかの運航日を調査実施日としている。

また、翌週の同じ曜日を調査予備日として設定し、天候不良等で調査を実施できなかった一部の航空便に対して、再調査を行っている。

6. 調査票回収状況

調査実施日における平日・休日調査別の旅客実績及び回収調査票数等は、次ページの表に示すとおりである。

令和3年度 航空旅客動態調査 平日・休日調査別旅客実績・調査票回収結果

	平日調査						休日調査						計					
	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率	(C/B)	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率	(C/B)	提供座席数	旅客数	搭乗率	回収数	回収率	(C/B)
	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(C/B)	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(C/B)	(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/B)	(C/B)
日本航空株式会社・JALグループ会社 (JAIR・JTA・HAC・JAC・RAC)	98,431	56,844	57.8%	35,347	62.2%		108,905	72,757	66.8%	49,871	68.5%		207,336	129,601	62.5%	85,218	65.8%	
ANAグループ2社 (ANA・ANK)	88,515	50,941	57.6%	34,169	67.1%		101,761	68,888	67.7%	49,541	71.9%		190,276	119,829	63.0%	83,710	69.9%	
スカイマーク株式会社 (SKY)	25,488	13,467	52.8%	9,479	70.4%		26,904	19,325	71.8%	14,296	74.0%		52,392	32,792	62.6%	23,775	72.5%	
株式会社AIRDO (ADO)	10,836	5,194	47.9%	3,892	74.9%		11,682	8,158	69.8%	6,250	76.6%		22,518	13,352	59.3%	10,142	76.0%	
株式会社ソラシドエア (SNT)	13,410	6,363	47.4%	4,337	68.2%		13,584	8,010	59.0%	5,570	69.5%		26,994	14,373	53.2%	9,907	68.9%	
Peach Aviation 株式会社 (APJ)	21,780	12,661	58.1%	7,593	60.0%		23,040	17,734	77.0%	8,541	48.2%		44,820	30,395	67.8%	16,134	53.1%	
ジェットスター・ジャパン株式会社 (JJP)	13,680	9,896	72.3%	6,658	67.3%		14,400	11,865	82.4%	8,026	67.6%		28,080	21,761	77.5%	14,684	67.5%	
株式会社スターフライヤー (SFJ)	7,200	4,277	59.4%	2,600	60.8%		7,350	5,405	73.5%	3,113	57.6%		14,550	9,682	66.5%	5,713	59.0%	
アイベックスエアラインズ株式会社 (IBX)	4,200	2,528	60.2%	1,143	45.2%		4,340	3,279	75.6%	1,869	57.0%		8,540	5,807	68.0%	3,012	51.9%	
株式会社フジドリームエアラインズ (FDA)	6,904	2,899	42.0%	2,225	76.8%		6,904	4,406	63.8%	3,761	85.4%		13,808	7,305	52.9%	5,986	81.9%	
スプリング・ジャパン株式会社 (SJO)	0	0	—	0	—		1,134	653	57.6%	438	67.1%		1,134	653	57.6%	438	67.1%	
新中央航空株式会社 (CIK)	456	374	82.0%	334	89.3%		380	253	66.6%	221	87.4%		836	627	75.0%	555	88.5%	
オリエントエアーブリッジ株式会社 (ORC)	2,174	1,394	64.1%	886	63.6%		2,252	1,600	71.0%	1,048	65.5%		4,426	2,994	67.6%	1,934	64.6%	
天草エアライン株式会社 (AMX)	480	152	31.7%	108	71.1%		480	226	47.1%	193	85.4%		960	378	39.4%	301	79.6%	
東邦航空株式会社 (TAL)	90	63	70.0%	40	63.5%		81	53	65.4%	41	77.4%		171	116	67.8%	81	69.8%	
合計	293,644	167,053	56.9%	108,811	65.1%		323,197	222,612	68.9%	152,779	68.6%		616,841	389,665	63.2%	261,590	67.1%	

7. 日集計表：利用に際しての留意事項について

令和3年度の調査結果について、平日調査・休日調査の別に、第2部「平日調査 集計結果」・第3部「休日調査 集計結果」として、集計表（表1から表7）をそれぞれ整理している。また、次頁以降の各項目において、各表の読み方や利用に際して特に留意する必要がある点を記載するものである。

なお、本表に掲載するいずれの集計表も、本調査に対して回答をした旅客数（回答数）を集計したものである点に留意されたい。

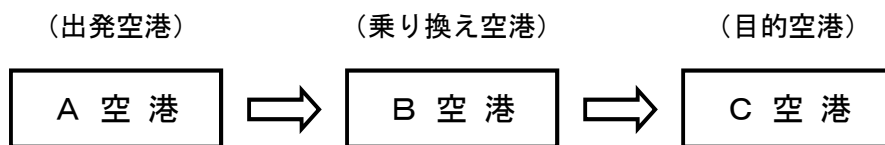
表1 OD表（空港間純流動表）

表1は、回答者の調査実施日における空港間の純流動ベースでのODを示した表であり、国内線の乗継の有無にかかわらず、回答者の出発地側の利用空港（出発空港）と目的地側での利用空港（目的空港）の2地点間のトリップ（目的を持った移動）に絞った集計表である。このため、表1の総トリップ数と回答者数は一致する。

以下の例に示すとおり、調査実施日にA空港を出発してB空港で国内線を乗りつぎ、最終的にC空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、[A空港] → [C空港] のトリップを行った旅客として集計される。

このため、純流動ベースのOD表においては、航空路線が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例 （乗り換えを1回行った場合）



		目的空港		
		A	B	C
出発空港	A	0	0	1
	B	0	0	0
	C	0	0	0

この場合、A空港からC空港への移動としてカウントされる。

表2 OD表（空港間総流動表）

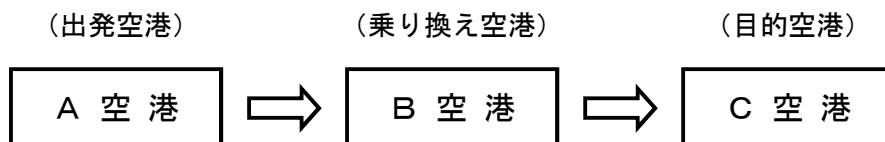
表2は、調査実施日の各路線における回答者数について集計したものであり、空港間の総流動ベースのOD表である。

空港間総流動は、一人の回答者が複数路線を乗りついだ場合にも、利用した各々の路線に一人ずつを計上する点において、表1（空港間純流動表）と異なっている。

以下の例に示すとおり、A空港を出発し、B空港で国内線を乗りつぎ、最終的にC空港に至った旅客は、[A空港] → [B空港] の区間を1トリップ、乗りつぎ先の [B空港] → [C空港] の区間を1トリップの計2トリップとして集計される。

したがって、空港間総流動ベースのOD表では、原則として航空路線が開設・運航されている空港間の流動が集計される。ただし、国内線を乗り継ぐ為に、地上交通機関を利用して空港間を移動した場合（成田－羽田間等）も表2の集計値に含むものである。

例 （乗り換えを1回行った場合）



		目的空港		
		A	B	C
出発空港	A	0	1	0
	B	0	0	1
	C	0	0	0

この場合、A空港からB空港、B空港からC空港への移動がそれぞれカウントされる。

表3 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗継旅客数

表3は、各空港における回答者の国内線乗継利用の割合を示すものである。表中の「出発旅客数(A)」「到着旅客数(B)」は表1（空港間純流動表）による空港別回答者数（各空港を出発空港・目的空港とする回答者数）である。また、各空港内で国内線間の乗継利用をした回答者数を(D)欄にて示し、国内線を乗り継ぐ為に他空港との地上移動を行った回答者は(D)欄に含まず、外部乗継者数として(E)欄に記載している。

例) 表3 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数

平日 表3 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数 (1)							単位：人
空港名	出発旅客数(A)	到着旅客数(B)	合計(C) (A)+(B)	乗換旅客数(D) (当空港内)	外部乗継者数(E) (当空港外)	取扱旅客数(F) (C)+1(D)*2+(E)	乗換旅客率 % (D)*2/(F)
稚内	129	103	232			232	0.0
釧路	479	607	1,086		5	1,096	0.9
函館	815	1,072	1,887		11	1,909	1.2
旭川	485	484	969			969	0.0
帯広	308	316	624			624	0.0
利尻	17	21	38			38	0.0
中標津	124	151	275			275	0.0

-
- 出発旅客数 (A)
 - 表1（空港間純流動表）による、純流動ベースの空港別出発回答者数。
※(D)、(E)欄と重複しない。

 - 到着旅客数 (B)
 - 表1（空港間純流動表）による、純流動ベースの空港別到着回答者数。
※(D)、(E)欄と重複しない。

 - 乗継旅客数 (D)
(当空港内)
 - 当空港において国内線間の乗継を行った回答者数。

 - 外部乗継者数 (E)
(当空港外)
 - 当空港と周辺の別空港との間で、国内線を乗り継ぐ為に陸上を移動した回答者数。(D)欄の外数。

 - 取扱旅客数 (F)
 - 調査実施日における当該空港を利用した回答者の合計。但し、(D)欄を乗降の別で計上するために、2倍した数字を(F)欄に計上している。また、(E)欄は一方が当該空港外となるため、片側のみ計上する。

 - 乗継旅客率
 - 当該空港を利用した回答者数全体に対する、国内線間の乗継利用の割合。

表4 OD別 旅行目的

表4は、空港間純流動ベース（表1）による空港間ODペア別に、旅行目的の状況を集計したものである。

空港間ODペアは、直行便の運航がある平日調査236区間・休日調査240区間、並びに直行便が運航していないが、20件以上の空港間ODが確認された区間について記載し、20件未満の場合には、「その他OD」にまとめて記載するものである（以降、表5・6・7も同様）。

表5 OD別 旅行日数

表5は、空港間純流動ベース（表1）による空港間ODペア別に、旅行日数の状況を集計したものである。併せて、「日帰り」以外の旅客については、本調査を受けた日が旅行中の何日目であるのか、集計して示している。

「調査を受けた日（宿泊を伴う旅客）」の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例) 表5 OD別旅行日数

平日 表5 OD別 旅行日数 (1)

単位：人

OD名	日帰り	旅行日数							不明	合計	調査を受けた日（宿泊を伴う旅客）							不明	合計					
		%	1泊2日	%	2泊3日	%	3泊4日	%			4泊5日以上	%	1日目	%	2日目	%	3日目			%	4日目	%	5日目以上	
羽田-新千歳	592	7.3	2,642	32.6	2,591	32.0	1,010	12.5	1,273	15.7	298	8,406	3,635	54.2	1,182	17.6	1,037	15.5	394	5.9	463	6.9	1,103	7,814
羽田-伊丹	927	17.8	1,885	36.1	1,345	25.8	514	9.8	550	10.5	160	5,381	2,178	57.0	781	20.5	493	12.9	181	4.7	186	4.9	635	4,454
羽田-関西	196	16.6	417	35.2	328	27.7	138	11.7	105	8.9	56	1,240	489	56.4	176	20.3	114	13.1	55	6.3	33	3.8	177	1,044
羽田-福岡	876	9.8	3,126	34.9	2,529	28.3	1,003	11.2	1,415	15.8	367	9,316	4,037	56.1	1,304	18.1	984	13.7	373	5.2	493	6.9	1,249	8,440
羽田-那覇	291	6.3	719	15.5	1,375	29.7	1,076	23.3	1,164	25.2	263	4,888	2,022	53.0	333	8.7	572	15.0	477	12.5	410	10.7	783	4,597
成田-新千歳	154	10.5	368	25.2	408	27.9	201	13.8	330	22.6	78	1,539	618	54.5	136	12.0	153	13.5	82	7.2	145	12.8	251	1,385
関西-成田	115	9.2	416	33.2	439	35.1	125	10.0	157	12.5	74	1,326	534	54.0	199	20.1	176	17.8	28	2.8	51	5.2	223	1,211
成田-福岡	89	5.9	414	27.7	469	31.3	204	13.6	321	21.4	100	1,597	642	54.0	187	15.7	168	14.1	64	5.4	127	10.7	320	1,508
成田-那覇	10	1.6	97	15.4	207	32.9	153	24.3	162	25.8	107	736	280	50.8	46	8.3	101	18.3	67	12.2	57	10.3	175	726
伊丹-新千歳	82	6.0	282	20.6	444	32.4	304	22.2	260	19.0	45	1,417	612	51.8	137	11.6	220	18.6	98	8.3	115	9.7	153	1,335

表6 OD別 旅行行程

表8は、空港間純流動ベース（表1）による空港間ODペア別に、旅行行程の復路〔帰り〕に利用する予定の交通機関（復路に調査を受けた回答者は、往路〔行き〕に利用した交通機関）の状況について集計をしたものである。

表7 OD別 乗り換え空港

表7は、空港間純流動ベース（表1）による空港間ODペアについて、直行便利用と国内線乗継利用の件数、並びに乗継空港について集計したもので、乗継利用の多い順に、上位3空港までの名称を掲載している。但し、2回以上国内線を乗り継いだ回答者については、“2回乗継”とし、空港名を挙げずに集計している。また、国内線を乗り継ぐ為に、地上交通機関を利用して空港間を移動した場合（成田-羽田間等）も乗り換え回数として集計をしている。

【参考】 附表1 路線別内際乗継利用回答状況（海外→国内線乗継）

【参考】 附表2 路線別内際乗継利用回答状況（国内線→海外乗継）

附表1／附表2は、国内線と国際線の乗継利用の状況について集計したものであり、海外を出発地、もしくは海外を目的地とした回答者に着目した集計表としている。

附表1は、海外を出発地とする回答者の「国際線到着空港」と、乗り継いだ先の国内線（路線名）について示している。なお、国内線を複数区間乗り継ぐ場合には、最初に搭乗する路線を集計している。

附表2は、海外を目的地とする回答者の「国際線出発空港」と、最後に利用する国内線（路線名）について示している。すなわち、国内線を複数区間乗り継いだ場合には、最後に搭乗予定の路線を集計している。

ただし、本年度調査時点（2021年11月）においては、海外からの帰国時に、出発国に関わらず一定日数の隔離期間が設けられていたことから、一般の航空旅客が海外からの到着日に国内線に直接乗り継ぐことは原則不可能であった。そのため、海外発と答えた回答に関しては、例えば調査日以前に海外より到着し、一定の隔離期間後に国内線を利用しているなどの旅客による誤記であり、設問での意図と異なる回答をしていることから、出発地を不明とした。以上より、海外出発旅客の集計は不可能であるため、附表1については作成できない。

なお、附表2については作成しており、本速報版においては附表2を「附表」と表記している。

例) 附表 1 海外→国内線乗継

例) 附表 2 国内線→海外乗継

着 発		乗継先国内線/行き先空港名								
		釧路	函館	旭川	帯広	紋別	女満別	新千歳	青森	三沢
新千歳発	国内線 計									2
国際線到着	新千歳									2
空港内訳	不明									
仙台発	国内線 計							2		
国際線到着	仙台							2		
空港内訳	不明									
成田発	国内線 計								114	
国際線到着	成田								112	
空港内訳	羽田									2
	不明									
羽田発	国内線 計	4	20	7	7	1	9	85	23	14
国際線到着	成田	4	15	4	5		9	28	7	9
空港内訳	羽田		5	2	2	1		52	16	5
	不明			1				5		
中部発	国内線 計								32	

例えば、

左に例示する赤丸は、海外を出発地とし、羽田発新千歳行きの国内線を利用した回答者 85 名のうち、28 名は成田、52 名は羽田に国際線で到着したと回答し、5 名の国際線到着空港名が不明であったことを示している。

国内線 目的空港		国内線出発空港(最終利用区間の搭)								
		釧路	函館	旭川	帯広	紋別	女満別	新千歳	青森	三沢
新千歳着	国内線 計							2		
国際線出発	新千歳							2		
空港内訳	不明									
成田着	国内線 計								80	
国際線出発	成田								74	
空港内訳	羽田								1	
	不明								5	
羽田着	国内線 計	15	20	20	5	7	83	20	4	
国際線出発	成田	4	12	5	3	5	29	14		
空港内訳	羽田	11	8	15	2	2	46	6	4	
	不明		1						8	
中部着	国内線 計			4				11		
国際線出発	中部			4				10		
空港内訳	不明								1	
伊丹着	国内線 計									

例えば、

左に例示する赤丸は、海外を目的地とし、旭川発羽田行きの国内線を利用した回答者 20 名のうち、5 名は成田、15 名は羽田から国際線に搭乗すると回答したことを示している。

なお、附表 1 / 附表 2 共に、日本籍・外国籍を合わせた集計結果であるが、調査票は一部の設問(問 1, 問 3-2, 問 3-3, 問 5-1)を除いて日本語のみで質問を行っており、日本語を理解できない場合には、国際線利用空港を回答出来ない点に留意する必要がある。

【参考】各集計表の集計範囲

調査日において、回答者 N が下図の様な動きをした場合、その行動は次頁に示すように集計される。

(回答者 N の動き)

- C 県に在住の回答者 N が、A 県 a 市を出発し、B 県の X 空港にて国内線（第 1 区間）に搭乗し、Y 空港で国内線（第 2 区間）を乗りつぎ、C 県の Z 空港で降機後、陸上交通で目的地 C 県 c 市に移動した場合。

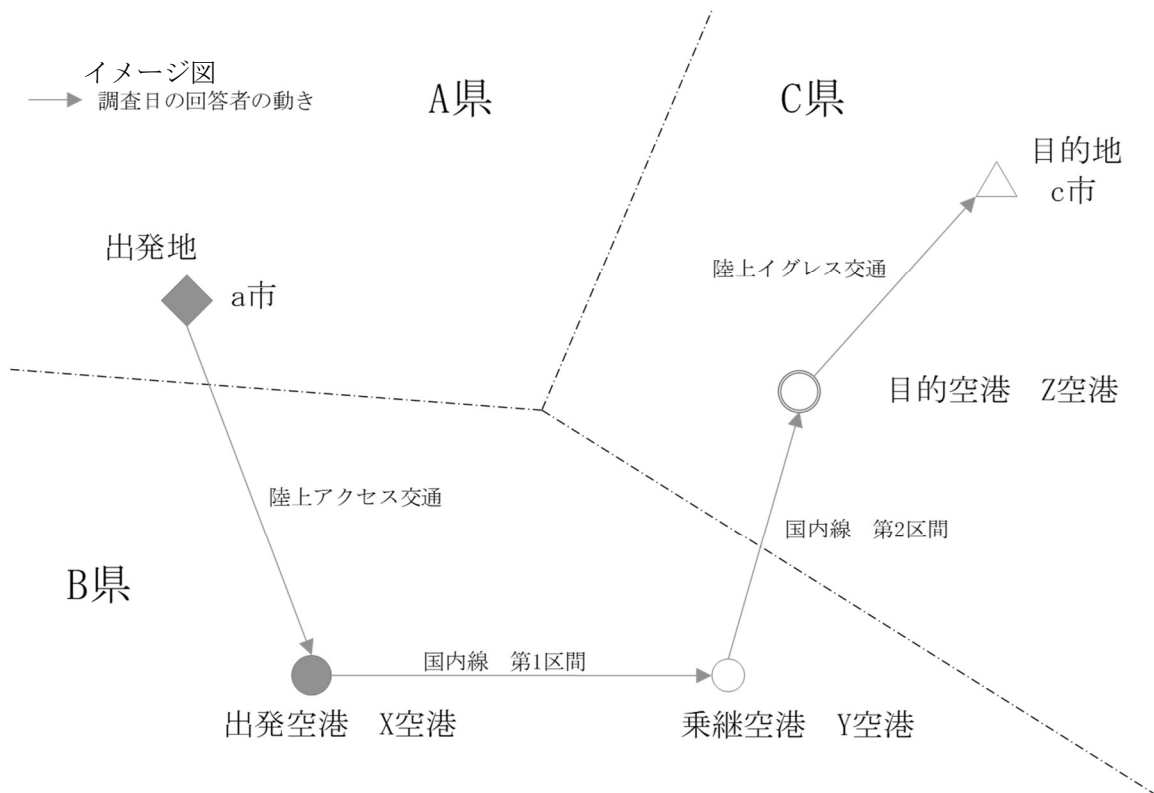


表1 空港間純流動表

- X 空港→Z 空港への移動を1トリップとして集計。

表2 空港間総流動表

- X 空港→Y 空港、Y 空港→Z 空港への移動をそれぞれ1トリップ、計2トリップとして集計。

表3 空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数

- 回答者Nは、X 空港の出発客、Y 空港の乗り換え客(×2)、X 空港の到着客として集計される。

表4 OD別旅行目的／表5 OD別旅行日数／表6 OD別旅行行程

- 回答者Nの旅行目的／日数／行程は、空港間OD(X 空港発 Z 空港着)の情報として集計される。

表7 OD別乗り換え空港

- 回答者Nは、X 空港～Z 空港間の流動に対する、Y 空港乗継利用者として集計される。

回答者属性 単純集計表 (性別・年齢・職業・現住所)

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査		
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比	
性別	男性	65,714	64.0	77,829	53.7	
	女性	37,003	36.0	67,233	46.3	
	(不明)	6,094	-	7,717	-	
	合計	108,811	100.0	152,779	100.0	
	年齢	14歳以下	2,806	2.7	7,833	5.4
		15～19歳	1,220	1.2	3,542	2.4
		20～24歳	5,960	5.8	9,351	6.5
		25～29歳	7,290	7.1	13,145	9.1
		30～34歳	7,170	7.0	11,101	7.7
		35～39歳	7,622	7.4	10,348	7.1
40～44歳		8,809	8.6	11,069	7.6	
45～49歳		11,280	11.0	14,322	9.9	
50～54歳		12,845	12.5	17,740	12.2	
55～59歳		11,544	11.2	15,939	11.0	
職業	60～64歳	10,035	9.8	12,769	8.8	
	65～69歳	7,392	7.2	8,423	5.8	
	70～74歳	5,330	5.2	5,607	3.9	
	75～79歳	2,039	2.0	2,206	1.5	
	80歳以上	1,276	1.2	1,536	1.1	
	(不明)	6,193	-	7,848	-	
	合計	108,811	100.0	152,779	100.0	
	職業	管理的職業	24,684	24.3	24,224	17.0
		専門・技術・事務関係職業	22,184	21.8	39,303	27.5
		販売・サービス関係職業	15,404	15.2	16,346	11.4
農業漁業関係職業		1,053	1.0	1,114	0.8	
生産・運輸関係職業		3,003	3.0	4,255	3.0	
その他の職業		11,921	11.7	20,330	14.2	
中学生以下		2,251	2.2	6,557	4.6	
高校生以上の学生		3,817	3.8	7,482	5.2	
主婦・主夫		9,341	9.2	14,299	10.0	
無職		7,904	7.8	8,958	6.3	
(不明)	7,249	-	9,911	-		
合計	108,811	100.0	152,779	100.0		

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	北海道	8,733	8.4	12,278	8.4
	青森県	377	0.4	680	0.5
	岩手県	248	0.2	282	0.2
	宮城県	1,399	1.4	1,789	1.2
	秋田県	322	0.3	580	0.4
	山形県	312	0.3	430	0.3
	福島県	311	0.3	542	0.4
	茨城県	1,433	1.4	2,052	1.4
	栃木県	586	0.6	877	0.6
	群馬県	387	0.4	644	0.4
	埼玉県	4,976	4.8	6,640	4.6
	千葉県	6,550	6.3	7,988	5.5
	東京都	21,530	20.8	31,841	21.9
	神奈川県	10,015	9.7	14,593	10.0
	新潟県	392	0.4	575	0.4
	富山県	138	0.1	236	0.2
	石川県	286	0.3	527	0.4
	福井県	113	0.1	191	0.1
	山梨県	224	0.2	305	0.2
	長野県	369	0.4	562	0.4
	岐阜県	588	0.6	755	0.5
	静岡県	816	0.8	1,272	0.9
	愛知県	4,089	4.0	6,413	4.4
	三重県	483	0.5	700	0.5
	滋賀県	449	0.4	695	0.5
	京都府	1,256	1.2	1,734	1.2
	大阪府	7,821	7.6	10,800	7.4
	兵庫県	4,353	4.2	6,210	4.3
	奈良県	781	0.8	963	0.7
	和歌山県	485	0.5	463	0.3
鳥取県	262	0.3	280	0.2	
島根県	361	0.3	480	0.3	
岡山県	506	0.5	703	0.5	
広島県	1,077	1.0	1,506	1.0	
山口県	574	0.6	752	0.5	
徳島県	327	0.3	599	0.4	
香川県	524	0.5	705	0.5	
愛媛県	952	0.9	1,335	0.9	
高知県	550	0.5	715	0.5	
福岡県	6,882	6.7	8,901	6.1	
佐賀県	445	0.4	740	0.5	
長崎県	1,286	1.2	2,017	1.4	
熊本県	1,492	1.4	2,187	1.5	
大分県	739	0.7	1,159	0.8	
宮崎県	990	1.0	1,374	0.9	
鹿児島県	2,163	2.1	2,605	1.8	
沖縄県	4,074	3.9	5,683	3.9	
海外	351	0.3	222	0.2	
(不明)	5,434	-	7,199	-	
合計	108,811	100.0	152,779	100.0	

